

萩市企業景況調査

DI方式

令和2年7月～9月期 実績
令和2年10月～12月期 予測

《調査機関》
萩商工会議所

DI（ディフュージョン・インデックス）方式とは？
DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。
◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)
※設備投資は割合(%)

業種によってはGOTOトラベル効果が出ている模様。

景況の概要

令和2年10月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。（調査対象企業：萩市内60社、回収率90%）

生産・売上 前期比は建設業及び卸売業が減少、その他の業種は増加となった（平均11.1%）。前年同期比ではすべての業種で減少となった（平均▲55.6%）。今後（10～12月期）の見通しにおいては、製造業・小売業及び観光関連業が増加、建設業及びサービス業が横ばい、卸売業は減少と予測（平均14.8%）。

収益 前期比は、製造業・小売業及び観光関連業で増加、サービス業では横ばい、建設業及び卸売業では減少となった（平均0.0%）。前年同期比ではすべての業種で減少となった（平均▲53.7%）。今後（10～12月期）の見通しにおいては、観光関連業・製造業及び建設業が増加、卸売業・小売業及びサービス業は減少と予測（平均9.3%）。

資金繰り 前期比は、建設業及び小売業が横ばい、それ以外の業種は悪化（平均▲29.6%）。今後の見通しでは、製造業以外の全業種で悪化と予測（平均▲11.1%）。

従業員数 すべての業種で人員不足という結果になった（平均11.1%）。

経営上の問題点 ①需要の停滞 57.7%②人材の確保難 17.3%③消費者ニーズの変化への対応 7.7%の順となった

今後の業界動向 各業界の景気の見通しは、サービス業と観光関連業が増加、それ以外の業種で減少となった（平均▲16.7%）。特に観光関連業で44.4%と増加傾向が顕著であった。

景況に関する生の声 ■すべての魚種の水揚げが少ない。商材が少ない中での商売をしなくてはならない。コロナの影響でいつ経済が変わるかわからないので、商品在庫も最小限で展開せざるをえない（海産物加工）。■GOTOキャンペーンのおかげで少し上向き（食品加工）。■観光・製造関連への燃料需要が上向いている。コロナの影響で原油相場が落ち着いているが寒くなり暖房需要が上がるにつれ、相場も上がる見込み（燃料小売業）。■各種キャンペーンで萩の観光客は増加し、ホテル等は盛況だがほとんどが自家用車を使用しているため、公共交通機関ではコロナの影響を脱却できない（旅客運送）。■GOTOトラベルの影響により観光客が増加、9月より他県を予定していた修学旅行が山口県へ振替え、また県内から萩へ来られるケースが多数。10月より一般、ツアー等も動いている（ホテル業）。

項目 / 業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均	
生産・売上	前期比	▲30.0	60.0	▲11.1	12.5	25.0	11.1	11.1	5.5	▲7.1
	前年同期比	▲20.0	▲80.0	▲44.4	▲37.5	▲50.0	▲100.0	▲55.6	▲18.2	▲26.8
	2年10月～12月期見通し	0.0	40.0	▲22.2	12.5	0.0	55.6	14.8	3.6	23.2
収益	前期比	▲40.0	30.0	▲11.1	12.5	0.0	11.1	0.0	▲14.5	▲16.1
	前年同期比	▲40.0	▲70.0	▲44.4	▲12.5	▲50.0	▲100.0	▲53.7	▲16.4	▲35.7
	2年10月～12月期見通し	10.0	30.0	▲22.2	▲12.5	▲12.5	55.6	9.3	▲7.3	8.9
資金繰り	前期比	0.0	▲60.0	▲11.1	0.0	▲50.0	▲55.6	▲29.6	▲9.3	▲10.7
	2年10月～12月期見通し	▲20.0	0.0	▲11.1	▲12.5	▲12.5	▲11.1	▲11.1	▲16.7	▲7.1
従業員数	2年9月末	10.0	0.0	11.1	25.0	0.0	22.2	11.1	41.8	33.9
設備投資	(実績)	10.0	10.0	11.1	25.0	25.0	11.1	14.8	35.2	21.4
	(計画)	20.0	0.0	22.2	25.0	0.0	11.1	13.0	26.4	21.8
業界動向	▲30.0	▲40.0	▲33.3	▲50.0	12.5	44.4	▲16.7	▲55.6	▲41.8	